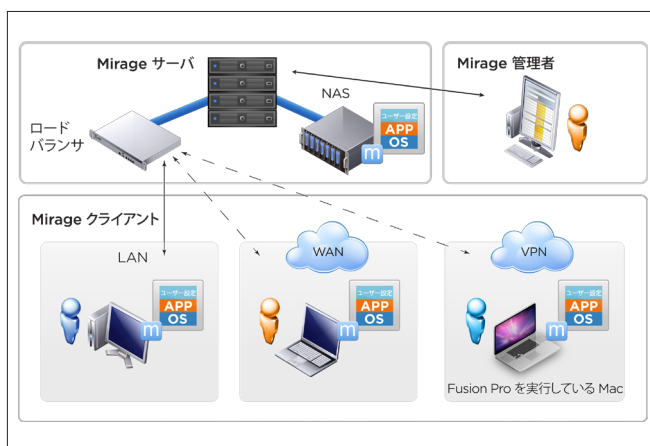


## 概要

VMware® Mirage™ は、物理デスクトップ、仮想デスクトップ、および個人デバイスのイメージを統合管理します。多数のエンドポイントのオペレーティングシステムやアプリケーションをアップデートする場合でも、動的な階層化とシステムのフルリカバリ機能によって、IT部門は迅速かつ費用対効果に優れた方法でアップデートを提供、管理、および保護することができます。VMware Mirage は分散環境向けに設計されており、支社や支店に必要なインフラストラクチャはごくわずかであるため、設備投資コストを削減できます。VMware Mirage は、PC ライフサイクル管理ツールを補完および拡張し、IT部門のヘルプデスクとサポートコストを削減します。

## 主なメリット

- 物理または仮想デスクトップを階層型の統合イメージに変換することで管理を簡素化
- 単一イメージの管理、自動バックアップ、およびシステムのフルリカバリによりコストを削減
- 適応性に優れたデスクトップ環境を提供することで、エンドユーザーの生産性を強化し、ワークスペースの作業効率を向上



VMware Mirage は分散環境向けに設計されており、支社や支店に必要なインフラストラクチャはごくわずかであるため、設備投資コストを削減できます。

## VMware Mirage について

### 動的な階層化によるイメージの統合管理

IT部門は VMware Mirage により、物理デスクトップ、仮想デスクトップ、および個人所有の PC のイメージを管理できるようになります。動的な階層化により、オペレーティングシステムおよびアプリケーションの展開が簡素化されます。VMware Mirage では、IT部門が管理する論理レイヤーとエンドユーザーが管理する論理レイヤーにデバイスを分割します。IT部門はオペレーティングシステムおよびアプリケーションレイヤーのアップデートを効率的に適用でき、エンドユーザーのカスタム設定はそのまま保持されます。この柔軟なエンドポイント管理技術により、オペレーティングシステムのアップデートと移行、アプリケーションやハードウェアのアップグレードを短時間で実行できるようになります。

### Windows 7 および Windows 8.1 への迅速な移行

VMware Mirage は、Windows 7 および 8.1 への一般的な移行方法を促進します。これには、既存の Windows XP デバイスを Windows 7 にアップグレードする方法、既存の Windows 7 デバイスから Windows 8.1 へアップグレードする方法、またはエンドユーザーのプロファイルとファイルを新しい Windows 7 や 8.1 マシンに移行する方法があります。また、VMware Mirage では、移行前に Windows XP または Windows 7 システム全体のスナップショットを作成して、問題が発生した場合でも IT部門は素早くリストアを行い、以前の状態に戻すことができます。

これらの機能により企業は、新しいオペレーティングシステムへの移行時間とコストを削減できるようになります。5,000 人規模の企業であれば、IT部門の作業時間短縮により最大約 60 万ドル、ユーザーの生産性向上により 100 万ドル以上を節約できます。

### PC の自動バックアップとシステムのフルリカバリ

デスクトップイメージを再度適用する場合や、破損したハードドライブや紛失または損傷があった PC を交換する場合、作成したスナップショットの状態までロールバックするためにデスクトップのリストアを行います。これは難しい作業です。

VMware Mirage では、オペレーティングシステム、アプリケーション、ファイル、カスタム設定を含む PC 全体のスナップショットを作成することで、エンドユーザーの古いシステムとまったく同じイメージを、交換後のデバイスにリストアします。セルフサービスによるファイルのリカバリと、デバイスに関係なくどこからでもファイルにアクセスできる機能により、エンドユーザーの生産性がさらに向上します。

## インフラストラクチャを追加することなく、リモート オフィスや支社の PC を容易に管理

VMware Mirage では、WAN 経由のデータ転送が問題なく機能するよう、ストレージ内とネットワーク転送間でデデュープ（重複排除）機能を活用します。これは、IT 部門がリモート オフィス、在宅勤務、外出先での PC の利用を管理するための強力なツールとなります。VMware Mirage は、これらの PC の正確なコピーを、WAN 経由で中央のデータセンターに格納します。

## PC ライフサイクル管理 (PCLM) ツールの機能を拡張

VMware Mirage は任意の PCLM ツールを補完するため、IT 部門は既存のツールを効率的な方法で拡張できます。

VMware Mirage は、動的な階層化機能、バックアップとリカバリ、およびローカルバック機能などのオプションを PCLM ツールに追加します。PCLM を拡張することで、ヘルプデスクのサポートコストの削減、バックアップおよびリカバリ機能の向上、大規模なオペレーティング システムの展開の簡素化が可能になります。

## VMware Mirage の仕組み

VMware Mirage をインストールすると、PC や仮想デスクトップ全体がスキャンされ、その内容が複数の論理レイヤーに分類されます。VMware Mirage によって、PC や仮想デスクトップ上のデータが移動または変更されることはありません。IT 部門がエンドポイントをより詳細に管理できるように、データが分類されるだけです。

分類が終わると、VMware Mirage はエンドポイント イメージの完全なコピーをデータセンター内の Mirage サーバに送信し、同期を維持します。エンド ユーザーがオフラインで作業している場合は、次にオンラインになったときに同期を行います。ここでは、IT 部門が管理するレイヤーの更新と、エンド ユーザーがシステムに加えた変更が同期の対象となります。VMware Mirage で管理されるイメージは、デスクトップまたはラップトップ上で直接実行できます。また、VMware Fusion® Professional または VMware® Horizon™ 上の仮想マシン内で実行することも可能です。エンド ユーザーは、オンラインの場合もオフラインの場合も、CPU やグラフィック機能など、ローカルのコンピューティング能力を活用できます。

VMware Mirage のアーキテクチャには、エンドポイントの統合管理と保護を行うデータセンター内の Mirage サーバ、ローカル キャッシュを作成してエンドポイントの操作性を最適化する Mirage クライアント、WAN を経由した双方向の同期を高速にする高度な WAN 向けテクノロジーが含まれます。

## 機能とメリット

### デスクトップ管理の簡素化

#### 動的な階層化

##### 階層型のイメージ管理

エンドポイント イメージを、IT 部門が所有する論理レイヤーと、エンド ユーザーが所有する論理レイヤーとに分けて管理します。エンド ユーザーのファイルやカスタム設定を維持したまま、IT 部門が管理するレイヤーを更新できます。エンドポイントに不具合がある場合は、ユーザーのアプリケーションやデータに影響を与えることなく、IT 部門がエンドポイントのシステム レイヤーをリストアして問題を修正することが可能です。

PC ライフサイクルの既存の管理プロセスやソリューションを拡張して、古い PC から新しい PC にユーザーを迅速に移行できるようにします。このとき、エンド ユーザーのデータやカスタム設定が損なわれることはありません。

##### 階層型のアプリケーション管理

VMware Mirage が管理するアプリケーションの階層化テクノロジーを活用して、個々のアプリケーションやアプリケーションのグループ、または VMware ThinApp® でパッケージングされたアプリケーションを任意のエンド ユーザー グループに容易に展開できます。ある従業員のグループ内で共通して利用されるアプリケーションを 1 つのアプリケーション レイヤーにまとめ、そのグループのエンドポイントに適用します。

### 仮想デスクトップのイメージ管理

VMware Mirage を使用して Horizon 環境の仮想デスクトップを管理できます。Mirage のレイヤーをインストールおよび更新して、物理 PC の場合と同じように、パーシステント デスクトップ プール内に仮想マシンのフル クローンを作成します。これには、アプリケーション、オペレーティング システムのパッチ、および基本イメージの更新が含まれます。VMware Mirage を使用して仮想デスクトップ イメージを管理すると、ユーザーがインストールしたアプリケーションとデータに影響を与えることなくアプリケーションを更新できます。IT 部門は Mirage を効果的に使用して、大規模環境でも物理および仮想の両方のエンドポイントを管理することが可能です。

### 個人所有の PC のイメージ管理

中央で管理される VMware Mirage のイメージは、Windows の物理デスクトップやラップトップにプロビジョニングすることが可能です。また、IT 部門が管理するイメージを仮想マシンに提供することで、個人所有デバイスの持ち込みを推進する取り組みをサポートできます。

## デスクトップのフルバックアップとリカバリ

PC 全体のスナップショット作成や、データセンターと継続的に同期する機能により、迅速なデスクトップのリカバリを実現します。新しいデバイスにシステムを迅速に復元できるため、PC の紛失、盗難、損傷が発生しても、IT 部門はエンド ユーザーのダウンタイムを最小に抑制できます。VMware Mirage の File Portal により、エンド ユーザーは任意の Web ブラウザから、自身が使用する端末上のすべてのファイルにアクセスできます。また、数回クリックするだけで、セルフサービスで任意のファイルやディレクトリをリストアすることが可能です。

## リモート オフィスや支社のユーザー向けに最適化

Branch Reflector で Mirage クライアント端末を有効にすることにより、支社や支店の管理を最適化できます。VMware Mirage の Branch Reflector では、Mirage サーバからあらゆるアップデートを一度にダウンロードできます。支社や支店内の他の Mirage クライアントに対するピア ツー ピアのアップデートも可能です。また、高度なアルゴリズムによって、Mirage サーバと遠隔地やリモート オフィスの Mirage クライアント間で必要なデータだけが送信されます。Mirage サーバ 1 台につき最大 1,500 人のエンド ユーザーをサポートし、最小限のインフラストラクチャでエンドポイントを大規模に管理できます。

## エンド ユーザーの生産性が向上

### パフォーマンスのカスタマイズ

エンド ユーザーは、ローカルのコンピューティング リソースを活用できるため、オフライン時の生産性が維持されます。

VMware Mirage が管理するイメージは、Windows PC にネイティブにインストールできます。また、Fusion Professional 内の仮想デスクトップとして、Windows、Mac、または Linux システム上で実行できます。IT 部門は、Windows 8.1 を含むさまざまな Windows オペレーティング システムを管理できるようになります。イメージが階層化されるため、エンド ユーザーはシステムを柔軟にカスタマイズできます。

### 最適化されたエンド ユーザー環境

Mirage クライアントは、エンド ユーザー PC 上のリソースを監視し、バックアップや同期のプロセスにより生産性が低下しないようにします。VMware Mirage は、必要に応じて CPU、メモリ、およびネットワークの使用率を動的に調整し、シームレスなエンド ユーザー環境を維持できるようにします。

## 詳細情報

VMware 製品のご購入または詳細情報については、次の製品 Web サイトをご覧ください。

<http://www.vmware.com/jp/products>

製品の仕様およびシステム要件の詳細については、VMware Mirage のオンライン ドキュメントを参照してください。

